



11月になり、暗くなるのが早くなりました。 早めにヘッドライトを点灯し 安全運転をこころがけましょう。

薄暮から夜間はものが見えにくくなるため、危険を見落としたり発見が遅れがちになります。この時間帯の危険を防止するためには、ヘッドライトの活用が重要な条件となります。そこで、ヘッドライトの活用を中心に、薄暮から夜間の安全走行のポイントをまとめてみました。

薄暮時にヘッドライトを点灯していない車は 見落とされやすい

薄暮時は、暗くなっていく速度に目の順応が追いつかず、視力がかなり低下した状態になるといわれています。これはドライバーであっても歩行者、自転車であっても同じです。

そのため、ヘッドライトを点灯していない車は、自車の視界が十分に確保できないだけでなく、周囲の車や歩行者、自転車から見落とされやすくなります。なかでも視覚が弱まっている高齢歩行者等は、ヘッドライトを点灯していない車に気づきにくく、車が接近していても横断してくることがあります。

薄暮時の危険を防止するために、日が沈む前は少し早めにヘッドライトを点灯して歩行者や他車から見落とされないようにするとともに、速度を落とし車間距離を十分とって走行しましょう。



赤色の車は薄暮時には目立たなくなる

赤色は昼間はよく目立つ色ですが、薄暮時になると闇に溶け込んで見えにくい色になります。これは、人間の目の仕組みに関係しており、「ブルキンエ(ブルキニエ)現象」と呼ばれています。

人間の目は、昼間は波長の比較的長い赤色系統に対する感度が高まってよく見えますが、暗くなると波長の短い青色系統に対する感度が高まり、波長の長い赤色系統への感度は逆に低下して見えにくくなってしまいます。赤色の車だから薄暮時もよく目立つだろうと考えるのは禁物です。

それなら、青色の車は薄暗くなると目立つからヘッドライトの点灯を遅らせても大丈夫だろうということにはなりません。どのような色の車でも、薄暮時は昼間のように目立つわけではありませんから、先に記したように、早めにヘッドライト点灯することが大切です。



代車でお困りではないですか？

修理に出したいけど
代車が……。

代車費用が心配……。



大東工業には様々な福祉車輛の代車がございます！



年末におきて福祉車輛を修理に出しませんか？
大東工業なら代車無料です！

お気軽にご相談ください！！

BODY SHOP DAITO 株式会社 **大東工業**



●福祉車両・保険受付
名古屋市中川区中野新町4-35
052-354-5433

●点検・車検・修理
名古屋市港区正保町8-22
052-381-9161